

## 第 4 次名古屋市環境基本計画策定検討会 サブ・ワーキンググループ 【開催報告】

### 【目 的】

○健康安全／循環型／自然共生／低炭素といった環境政策の根幹となる環境保全の取組の実施状況や今後の方向性を確認するとともに、各部局で抱えている課題や課題解決に向けた取組等を共有し、複数の課題を同時解決する重点事業の検討を行うこと

### 【構成員】

○12 局 20 名（防災危機管理局／総務局／市民経済局／観光文化交流局／環境局／健康福祉局／子ども青少年局／住宅都市局／緑政土木局／教育委員会事務局／上下水道局／交通局）

### 【第 2 回（令和元年 8 月 15 日）及び第 3 回（令和元年 10 月 8 日）開催結果】

○「名古屋市総合計画 2023 -世界に「冠たる NAGOYA」へ-（案）」における、本市を取り巻く状況・課題に対して、課題解決に向けた取組（事業）のアイデア出しを実施

| まちづくりの課題                         | 課題解決に向けたアイデア   |
|----------------------------------|--|
| 自然災害に対する懸念<br><br>環境の持続可能性に対する懸念 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者施設、障害者施設等の整備にあたり、雨水を一時的に貯留できる設備の整備を支援する</li> <li>○AI を活用したポンプ所管理を行う</li> <li>○避難所に再生可能エネルギーを導入し、快適な避難所環境をつくる</li> <li>○区役所等と連携した避難訓練コンサートを実施する</li> <li>○グリーンインフラを活用する</li> <li>○アスファルトで発電できないか</li> <li>○市全体でペーパーレス化を推進する</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>  |
| リニア中央新幹線の開業に伴う変化<br><br>交流人口の増加  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○名駅を玄関口として、日本文化を感じ取れるモニュメントを設置する</li> <li>○基幹バスレーンを自動運転化する</li> <li>○都心に広大なじゃぶじゃぶ池（流れるプール）をつくる</li> <li>○ごみ分別の簡略化を図る（市外／国外の人には分からない、市内ですら・・・）</li> <li>○ピクトグラムによってグローバル化へ対応する</li> <li>○訪れたら健康になるまちへ、名古屋の食文化が健康にする</li> <li>○市民総ぐるみで英会話レベルを向上する</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>                             |
| 少子化・高齢化に伴う人口構造の変化                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育園などの手伝いやトワイライトスクールに高齢者が参画する</li> <li>○高齢者が免許返納後も外に出やすい公共交通を実現する</li> <li>○人材登録する（得意なことをまとめてデータベース化する。助けてもらいたい人を選択・依頼）</li> <li>○高齢者が近所で集う拠点づくり、冷暖房費助成でクールシェア／ウォームシェア</li> <li>○街中居住してもコミュニティを実感できる空間の創出（トリエンナーレのような遊ぶスペース）</li> <li>○土日あそび塾の開催（高齢者はあそびを提供、子どもを遊ばせて親は休める）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> |
| 産業を取り巻く環境の変化                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統的地場産業へのインターンを実施する</li> <li>○新技術と伝統産業のコラボレーション</li> <li>○企業のための格安オフィスを提供する</li> <li>○素人のアイデアを足りない技術で補い、事業化に結び付ける事業化支援を行う</li> <li>○海外人材確保のため、その子どもが通えるインターナショナルスクールなどを整備する</li> <li>○環境産業を振興する（暑い名古屋を生かしたエネルギーの開発、暑熱を資源に）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>   |

